

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	白山公園燕喜館及び市民茶亭遊神		
管理者名	株式会社新潟ビルサービス	指定期間	平成21年4月1日 ~ 平成26年3月31日
新潟市主管課	中央区役所建設課		
所在地	中央区一番堀通町1番地2 白山公園内		
根拠法令	都市公園法		
設置条例	新潟市都市公園条例		
施設概要	建物 494 m ² 平成9年開館 ○燕喜館 庭園, 茶室, 奥座敷, 前座敷, 居室, 事務室 ○市民茶亭遊神 水屋, 茶室		

施設設置目的
<p>燕喜館は、明治から昭和に活躍した商家である三代目斉藤喜十郎氏の邸宅の一部を移築再現し、白山公園を借景した庭園とともに整備したものである。</p> <p>伝統的な数奇屋造の建築物（国登録文化財）を公開するとともに、日本の伝統的な文化（茶道、華道等）や伝統芸能活動の場としての利用に供することを目的とする。</p>
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1)新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、都市公園の健全な発達を図り、公共の福祉の増進に資する管理運営を行うこと。</p> <p>(2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用が確保すること。</p> <p>(3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。</p> <p>(4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。</p> <p>(5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。</p> <p>(6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。</p> <p>(7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。</p> <p>(8)指定管理者制度を理解し、実践すること。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	ホームページアクセス件数年間4,000件以上	アクセス件数年間6,516件	A	目標は達成している。
	基準利用者数の達成	利用者数年間32,000人以上	年間29,457人	C	目標を達成できず、利用者数増加の取り組みが必要である。
	基準稼働率の達成	貸し室稼働率奥座敷60% 茶室20%前座敷40%居室40%遊神亭5%	稼働率 奥座敷64.6% 茶室22.8% 前座敷51.9% 居室44.5% 遊神亭4.8%	C	遊神亭のみわずかに達成できなかった。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで「満足」が80%以上	「満足」が91.0%	B	目標は達成している。
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には3営業日以内に回答	回答している	B	迅速に対応している。
	設置目的に合致したサービス提供	設置目的に合致した自主事業を7件以上実施	「市民呈茶」「しぼり展」「花街茶屋」など 7件実施	B	目標は達成している。
財 務	市の歳入の増加	使用料収入を年間1,750千円以上	使用料金1,735千円	C	目標を達成できず、利用者数増加の取り組みが必要である。
業 務	他施設との連携に対する理解	共同事業開催年1回以上	「雛めぐり」「越の花飾り」	B	他施設との連携が取られている。
	人員計画の合理性妥当性	常時2名以上配置	常時2名以上配置している	B	必要な人員が配置されている。
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	改善内容に応じて軽易なもの即日時間を要するもの1週間以内に改善対応	改善勧告はなかった	B	該当なし。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災訓練年2回	9月・3月 2回実施	B	目標は達成している。
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	実施している	B	業務仕様書に従い実施している。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事故発生件数0件	0件	B	目標は達成している。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	設備保守・環境維持管理等計画通り実施	B	目標は達成している。
人 材	配置人員条件の充足	日本文化に造詣の深い人員を配置	茶道・華道・書道の家元・師範・段保持者を配置	B	条件を満たしている。
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	茶道・華道・書道等の日本文化の研鑽を奨励	同上それぞれ研鑽をつんでいる	B	目標は達成している。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守している	B	業務仕様書に従い実施している。

総 合 評 価 (所 見)

施設の管理運営は業務基準等に基づき適正に実施され、施設の維持と利用者へのサービスに努めており、良好と評価できる。また施設の維持管理や職員の研修受講、自主事業の実施等についても、協定書や事業計画書に基づき、適正に実施されており、良好と評価できる。

しかしながら、年間利用者数及び使用料収入等については、評価指標を達成しなかったため、今後はホームページ等による情報発信や自主事業の開催等により、施設自体の更なる周知、知名度向上を図り、各評価指標達成に向けたより一層の取り組みを期待する。